

NETIS登録番号		技術名称		ガードクリフ		
QS-110007-A		副題		ガードレール基礎一体型L型擁壁		
分類1	共通工	擁壁工	プレキャスト擁壁工	キーワード:コスト削減・生産性の向上、 公共工事の品質確保・向上		
分類2	付属施設	防護柵設置工	ガードレール設置工			
開発目標		経済性の向上、作業環境の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input type="checkbox"/> 有り (特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし					
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名			株式会社 ヤマウ	TEL	092-872-3351
	住所			福岡県福岡市早良区東入部5丁目15-7	E-MAIL	shiihara@yamau.co.jp
	担当者			権原輝貴		
実績件数 H26.8.31現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
	14件		489件		39件	

技術概要: (300字以内)

従来技術はプレキャストL型擁壁と現場打ちガードレール基礎を分離構造として施工していましたが、ガードクリフはプレキャストL型擁壁とガードレール基礎を一体型させた技術です。
ガードレールを設置する必要がある道路擁壁部、路肩が狭い盛土部などのL型擁壁兼ガードレール基礎として適用できます。

「従来技術と比較して何を改善したのか」

従来までは、L型擁壁とガードレール基礎を分離構造として別々に施工していましたが、L型擁壁とガードレール基礎を一体型にすることにより、コスト削減と施工の短縮が図れます。

「期待される効果」

- ①従来技術と比較して工期短縮が図れます。
- ②工場製品であり品質が安定しています。

「適用条件」

- ①現場条件
作業スペースは144m²以上必要(一例:25tラフテレーンクレーン及び10tトラックによる据付)。
- ③技術提供可能地域
全国に提供可能

「適用範囲」

- ①ガードレール種別がB種・C種である箇所
- ②裏込め土条件
・単位重量: $\gamma=19\text{kN/m}^3$
・内部摩擦角: $\phi=30^\circ$
- ③支持地盤条件
・摩擦係数: $\mu=0.6$

「特に効果の高い適用範囲」

- ・幅員の狭い道路

「適用できない範囲」

- ・ガードレール種別がA種・SS種・SA種・SB種・SC種である箇所
- ・高速自動車国道及び自動車専用道路
- ・H-3000以下は曲線半径が15m未満である道路
- ・H-3250以上は曲線半径が20m未満である道路
- ・最低連結本数を満足できない箇所

「留意事項」

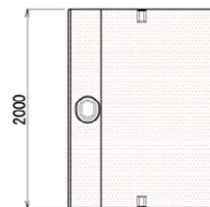
- ①設計時
・壁高により最低連結本数が異なりますので注意して下さい。
- ②施工時
・H-3000以下は曲線半径が15m未満である道路には使用しないで下さい。
・H-3250以上は曲線半径が20m未満である道路には使用しないで下さい。

「写真・図等」

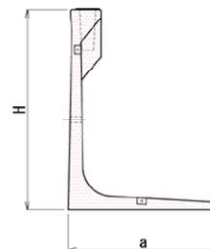
寸法表

呼び名	幅 (mm)	重量 (kg)
H-1000	1050	1300
H-1250	1190	1515
H-1500	1220	1735
H-1750	1350	2035
H-2000	1500	2355
H-2250	1650	2760
H-2500	1800	3175
H-2750	1950	3625
H-3000	2100	4105
H-3250	2180	5835
H-3500	2330	6110
H-3750	2470	6355
H-4000	2620	6585

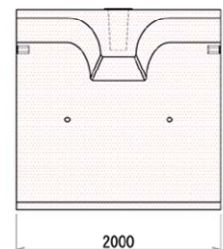
平面図



側面図



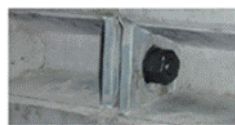
背面図



①掘削
②基礎工



③製品の据付



④連結金具の締め付け



④モルタル充填



(ガードレール設置)